

STREET RENOVATION

御堂筋における道路空間再編と沿道エリアの活性化

大阪市では、御堂筋全体の道路空間再編に向けて、側道部分を活用して自転車通行空間を確保するとともに歩道を拡張する取り組みを行っています。

NSRI は、2年前から、日建グループ各社とも連携しつつ、歩行者・自転車に加えて、自動車への交通影響の視点から、御堂筋の道路空間再編に係る検討を支援してきました。

先行モデル区間（難波西口～難波交差点）では、実際に歩行空間と自転車通行空間を分離したことにより、安全で快適な歩行空間が創出されました。今後、IoT 関連技術を活用しつつ、歩行者・自転車通行の安全性や快適性等の道路空間のあり方、沿道エリアの活性化の検証につなげる予定です。



Before



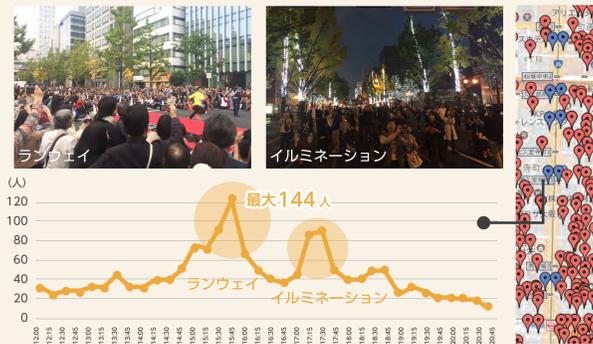
After

(出典：大阪市提供資料)

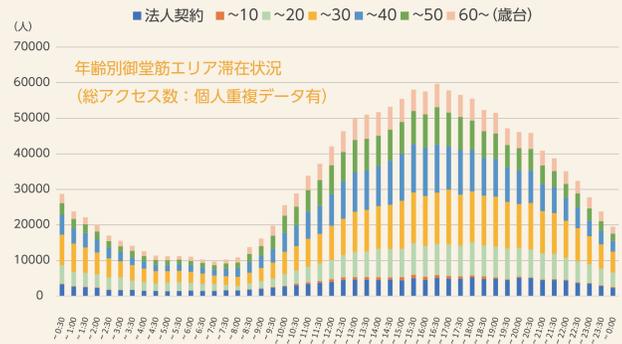
IoT 関連技術を活用した道路空間のあり方検証に資する試行取り組み（人流モニタリング）

Wi-Fi ログを活用したイベント時の人流分析

ランウェイやイルミネーションの開催に合わせてアクセス数も増加し、イベント時のピーク移動を確認



イベント時の御堂筋エリア滞在者の年代は 30・40 代が中心で、イベント時のピーク滞在を確認



Eco Counter による交通量の自動計測

自転車のホイールによって生じる磁気信号により自転車の通行台数をカウント（逆走する自転車も検知）

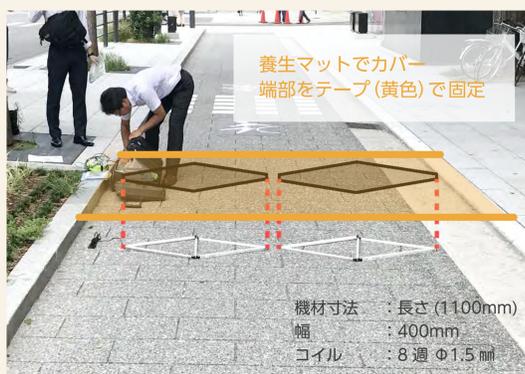
コイルセンサーによる自転車交通量の把握

- 養生マットによりカバー
- センサー脇で調査員が監視

カウントセンサー



施工イメージ



社会実験イベントにおける
機器設置・観測風景
(H29.11.05)